

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- ① 一括質問一括答弁方式
- ② 一問一答方式

質問件名 こどもの学びを保障し、安心できる支援につなげるために

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

2023年度の文部科学省の調査によると、不登校の状態にある小・中学生は、過去最多の約34万6千人となり、増加し続けています。小平市でも同様に増加傾向にあります。小平市としても多様な学びの保障と場の確保など、様々な取組を行っていますが、その情報などが当事者に伝わらず、不安や困り事を抱え、支援につながらないケースも見聞します。不登校やその傾向がある子ども及び保護者が必要な支援につながるよう、以下質問します。

1. 2024年7月2日の小平市総合教育会議の資料によると、小平市の小学校における不登校出現率が、国や東京都の値を上回っていますが、この要因をどの様に捉えていますか。
2. 不登校の対応は、学校全体で取り組むべきと考えます。不登校の状況にあるこどもの情報共有と対応及び検討は、どのような体制で行われていますか。
3. 行き渋りのある子どもには、発達障がい傾向がみられる場合もあり、専門知識がある作業療法士の導入が有効と考えます。市の取組状況について伺います。
4. 保護者を孤立させないためにも、不登校の対応についての市の新しい取組や情報などの提供が必要と考えます。特に不登校が長期化するこどもの保護者へはどのように伝えていますか。
5. 市内には、地域の不登校支援を行う団体や親の会、子ども食堂などがあります。教育委員会として情報収集を行っていますか。また、その情報を保護者に提供していますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2025年 2月 13日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 柴尾ひろみ

受付番号【 】

27	26	25	24

-(/)